

# ねそ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成19年10月号

## 第30回全国町並みゼミ伊勢大会参加報告

9月14～16日に、三重県伊勢市にて開催されました見出しの大会に、教育委員会の近藤さん、合掌財団の中田さん、守る会の和田が参加いたしました。今回は町並みゼミ第30回をむかえる記念大会であり、約700名もの参加者が全国より集まりました。以下にその概要を報告いたします。

### 第1日目

#### 全体会・講演・報告会 場所：伊勢市観光文化会

開会セレモニーの後、神宮司庁河合真如氏による基調講演「式年遷宮と伊勢のまち」があり、伊勢神宮の歴史について学びました。

次に伊勢からの報告として「伊勢の町並み保存運動の歩み」について説明がありました。伊勢は古くから全国より参宮客をむかえてきた地域であり、20年ごとに行われる遷宮にあわせた暮らしの様子や町並みの再生についての取り組みを学びました。

各地からの報告では、7地区が発表しました。その中には妻籠宿もあり、荻町が手本とした「売らない、貸さない、こわさない」の原則や座右の名「初心、忘るべからず」の精神、「保存優先の取り組みがあるからこそ今の妻籠宿がある」の言葉が心に残りました。また、広島県鞆の浦では、近世港町の景観保全にむけ、埋立架橋計画阻止を訴える四半世紀わたる戦いが続いていることを知りました。

#### 懇親会・部門別町並み交流会 場所：神宮会館

地元の方々によるアトラクションの後、歓迎懇親会が行われました。伊勢うどんやてこね寿司等、地元の幸に舌鼓をうちながら、色々な地域の方々や大学の先生方と交流を深めました。町並みゼミには、これから伝建地区を目指す地域や地道に町並みの保存と活用に取り組んでいる団体が多く、その情熱とパワーを感じました。その表れとして、町並みゼミでは懇親会の後に部門別町並み交流会～夜なべ談議と会議が設定されています。私は集落部門のサブコーディネーター兼記録を依頼されていたので、そちらに参加いたしました。参加者は8名と少なかったのですが、活発な意見交流がなされました。農村集落では、高齢化による農業離れが進み農村景観が失われつつあることが問題としてあげられ、合掌財団や守る会の休耕地復元の取り組みを紹介するとともに農産物が地域振興につながるシステムの必要性について意見交流をしてきました。また、世界遺産白川郷を訪れた方も多く、交通問題や観光地化による景観の悪化についての質問や意見も多くいただきました。ここでも、白川郷の知名度と関心の高さを痛感しました。

### 第2日目

#### 町並み見学・分科会 場所：おはらい町おがげ横丁

午前中はフィールドワークで内宮鳥居前町おはらい町・おがげ横丁を散策しました。伊勢の町家は妻入りが多く、雨風の強い気候にあった造りとなっています。また、神宮の御正殿が平入りなので、庶民の家は恐れ多いので妻入りにしたともいわれています。おはらい



[開会セレモニー]



[妻籠宿等7地区からの報告]



[様々なアトラクション]



[集落部門交流会]

町通りは、昭和54年に再開発が計画され、住民と地元企業(株)赤福の取り組みに行政・専門家を交え、平成元年に伊勢市まちなみ保全条例を制定し、平成5年の式年遷宮を目標にまちづくりが進められました。現在は年間350万人もの観光客が訪れる町となっています。白川郷のような農山村とちがい、門前町として人が集まることを前提とした町並みづくりができる点や観光地(商用地)として地域振興につなげやすい環境にあることが、ある意味でうらやましく感じました。

午後の分科会では、第9分科会「街道文化と町並み保存」(コーディネーター：西山教授)に参加しました。人が行き交うことにより街道文化が発展したことやそれを活かした町並みづくりに努力されていることがよくわかりました。これに対し白川郷は、農山村の景観を活かした観光のあり方や特産品の開発に力を注ぐ必要性を感じました。

### 第3日目

## 全体会 場所：伊勢市観光文化会館

前日の分科会報告の後、町並みゼミ第30回記念パネルディスカッション「町並みゼミが伝えていくものはなにか」が行われました。写真を見ながら30年にわたる町並みゼミが果たしてきた役割を振り返るとともに、これからの課題として、町並み保存制度の一層の確立、自然との共生、世代交代を含めた次世代への継承の大切さを確認しあうことができました。最後に、「鞆における埋立架橋中止を求める決議」、ゼミを総括する「伊勢宣言」を採択するとともに、次回開催地である愛媛県西予市宇和への引継を行い閉会しました。

私は、はじめての参加でありましたが、30回を記念する節目のゼミに参加する中で、住民運動の大切さや今後の守る会のあり方について考えるよい機会をいただいたゼミとなりました。また、帰路に、伝建地区である亀山市関宿に立ち寄る機会を得ました。1.8kmに及ぶ街道の町並みの景観保全に対する努力の様子がうかがい知れました。

最後に、ゼミに参加する機会をいただきましたことに感謝申しあげ、参加報告とさせていただきます。 [文責：和田 正人]



[おはらい町通り]



[第9分科会での討議]



[次回開催地宇和への引継]

### 守る会の活動指針 (国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

## = 9月の活動報告 =

- 9月 5日 交通対策委員会(役員)
- 9月 8日 竹富島よりの研修視察案内(会長)
- 9月 8日 企画委員会(三村交流にむけて)
- 9月 10日 定例会(18名) 役員会
- 9月 14日~16日 第30回全国町並みゼミ伊勢大会参加(和田)
- 9月 18日 案内板設置現地調査(会長・副会長)
- 9月 21・22日 新交通システム実施
- 9月 30日 稲刈り体験イベント(雨天のため10月1日に稲刈りを実施)

### = 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会(毎月10日前後)の2週間前までに財団又は各組代表の委員に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願いします。

### 10月の協議事項(現状変更申請に関わって)

\*\*\*\*.....畑街路灯の撤去

9月の現状変更申請に対する許認可報告は、各組委員より別紙報告があります。

